

ぱいかじ

南風が運ぶ 自治体病院のその先

（沖縄から全国へ、そして未来へ発信）

開催案内

—改訂版—

The 60th Annual Congress of JMHA in OKINAWA

第60回 **全国自治体病院学会 in 沖縄**

会期 2022年11月10日（木）・11日（金）

学会長 篠崎 裕子（沖縄県立八重山病院 院長）

会場 沖縄県那覇市 | 那覇文化芸術劇場なはーと・ホテルコレクティブ・沖縄県立武道館



<https://www.c-linkage.co.jp/60jmha/>



もうすぐ訪れるブセナ25年目のアニバーサリー 新たなサービスが始まります

THE BUSENA TERRACE
25th
Anniversary

ザ・ブセナテラス

ザ・ブセナテラスは2022年7月10日に開業25周年を迎えます。

さらに"進化"したサービスと、南の島の自然が織りなす"深化"したもてなし。

テラスだけのホスピタリティを添えてお待ちしております。



OKINAWA



ザ・ブセナテラス
デラックスエレガント オーシャンフロント



ザ・テラスクラブ アットブセナ



ジ・アッタテラス クラブタワーズ



ジ・ウザテラス ビーチクラブヴィラズ



ザ・ナハテラス



The 60th Annual Congress of JMHA

CONTENTS

学会へのご案内（ごあいさつ）	3
会期・会場及びお問い合わせ先	4
会場までの交通機関、会場周辺案内図	5
学会日程表（予定）	6
総会プログラム	8

分科会プログラム

[職種・技術系]

看護・看護教育分科会	10
臨床医学分科会	12
臨床医学分科会（精神科領域）	13
薬剤分科会	14
臨床検査分科会	15
放射線分科会	16
栄養分科会	17
リハビリテーション分科会	18
臨床工学分科会	19

[経営・管理系]

経営・管理分科会	20
地域医療・連携・福祉分科会	21
地域医療・連携・福祉分科会（精神科領域）	22
県民公開講座Ⅰ～Ⅲ	23

学会参加登録	25
演題発表申し込み	28
ポスターセッションについて	32
宿泊のご案内	34
エクスカーションのご案内	36

南風（ぱいかじ）が運ぶ自治体病院のその先 ～沖縄から全国へ、そして未来へ発信～



学会長 篠崎 裕子
沖縄県立八重山病院 院長

第60回全国自治体病院学会を、2022年11月10日（木）、11日（金）の2日間にわたり、沖縄県那覇市の「那覇文化芸術劇場なは一と」、「沖縄県立武道館」、「ホテルコレクティブ」を会場として開催いたします。

今回の学会テーマは、「南風（ぱいかじ）が運ぶ自治体病院のその先～沖縄から全国へ、そして未来へ発信～」とさせていただきます。

新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、社会全体がかつて経験したことのない事態に陥りました。世界中に社会・経済活動の制限や医療体制のひっ迫など多大な影響を及ぼしました。

我が国では新型コロナウイルス感染症への対応において、多くの自治体病院が「地域医療を守りぬく」という責務を全うすべく、その地域での役割の中で、自治体病院としての底力を十分に発揮し貢献頂いていることに敬意を表します。

一方で、新型コロナウイルス感染症の拡大により自治体病院を取り巻く環境も様変わりしてきました。

これからの新しい生活様式の中での自治体病院の在り方を、「地域医療構想」、「働き方改革」、「事業継続計画（BCP）」、更には「新興感染症対策」などの課題も盛り込みながら議論をしたいと考えます。

決して明けない夜はない。自治体病院としての矜持をもち、多くの仲間とともに地域医療を守りぬく信念を持って、これからも前を向いて進んでいきましょう。

本学会では感染対策を行いながら、総会特別講演、総会シンポジウム、専門分科会、ポスターセッションを予定しています。

日本の南の端の沖縄から、自治体病院の使命である「地域医療の最後の砦」としての本質を今一度見つめ直し、さらに新たなステージを目指すヒントを発信できればと思います。

会場は、那覇市の中心である国際通りに近い場所にあり、学会開催中でも那覇の街を散策しながら楽しんでいただけたらと思います。また、2021年に世界自然遺産に登録された沖縄本島北部や西表島、その他の離島の島々にも是非足を伸ばしていただき、沖縄を満喫して頂ければ幸いです。

沖縄県の自治体病院が総力をあげて、沖縄の魅力を随所に散りばめながらおもてなしをさせていただきます。全国から多くの皆さまのご参加を、心からお待ちしております。



会期・会場及びお問い合わせ先

会 期

第1日目 2022年11月10日（木）

開会式、会長特別講演、総会シンポジウムⅠ、分科会、ランチョンセミナー、交流会

第2日目 2022年11月11日（金）

第59回全国自治体病院学会最優秀演題発表、総会シンポジウムⅡ、総会特別講演Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ（県民公開講座）、分科会、ランチョンセミナー、閉会式

会 場

那覇文化芸術劇場なはーと（講演会場）

〒900-0015 沖縄県那覇市久茂地3-26-27 TEL：098-861-7810

ホテルコレクティブ（講演会場、交流会会場）

〒900-0014 沖縄県那覇市松尾2-5-7 TEL：098-860-8366

沖縄県立武道館（ポスター会場、展示会場）

〒900-0026 沖縄県那覇市奥武山町52 TEL：098-858-2700

お問い合わせ先

学会事務局：沖縄県立八重山病院

〒907-0002 沖縄県石垣市真栄里584-1

運営事務局：株式会社コンベンションリンケージ

〒901-2227 沖縄県宜野湾市宇地泊281-2

TEL：050-3460-3097 FAX：098-898-2202

E-mail：jmha60@c-linkage.co.jp

※学会の運営・プログラム、事前参加登録、演題登録については、運営事務局へお問い合わせください。

<お問い合わせ受付時間>月曜～金曜（祝祭日を除く） 9：30～17：30

オフィシャル・トラベルエージェント：

【宿泊・エクスカーションについてのお問い合わせ先】

株式会社JTB沖縄 旅行営業部 MICE 営業課

「第60回全国自治体病院学会」受付デスク

〒900-0029 沖縄県那覇市旭町112番地1

TEL：098-861-4040 FAX：098-869-3424

E-mail：jmha60@okw.jtb.jp

<お問い合わせ受付時間> 9：30～17：30（土日祝日は休業）

学会日程表（予定）

1日目／2022年11月10日（木）

			7:30	8:00	8:50	9:00	9:30	10:00	10:20	10:25	11:00	12:00
第1会場	那覇文化芸術 劇場なはーと	大劇場				開会式・総会		会長特別講演			総会シンポジウムⅠ	
第2会場		小劇場										
第3会場		大スタジオ										
第4会場		小スタジオ										
第5会場	ホテル コレクティブ	大宴会場	A									
第6会場			B・C									
第7会場		中宴会場	A									
第8会場			B									
第9会場			C									
ポスター 会場	沖縄県立 武道館	アリーナ/ 錬成道場		ポスター掲示								
展示会場				企業展示								

2日目／2022年11月11日（金）

			7:30	8:00	8:30	9:00	9:30	9:50	10:00	10:10	10:30	11:00	11:20	11:30	11:50	12:00
第1会場	那覇文化芸術 劇場なはーと	大劇場				第59回 全国自治体病院学会 最優秀演題発表			総会シンポジウムⅡ							
第2会場		小劇場			地域医療・連携・福祉分科会 特別講演				地域医療・連携・福祉分科会 シンポジウム							
第3会場		大スタジオ			薬剤分科会 特別講演Ⅰ				薬剤分科会 特別講演Ⅱ							
第4会場		小スタジオ			放射線分科会 特別講演Ⅰ			放射線分科会 特別講演Ⅱ		放射線分科会 特別講演Ⅲ						
第5会場	ホテル コレクティブ	大宴会場	A													
第6会場			B・C			リハビリテーション分科会 特別講演Ⅰ		リハビリテーション分科会 特別講演Ⅱ		リハビリテーション分科会 特別講演Ⅲ						
第7会場		中宴会場	A			臨床医学分科会（精神科領域） シンポジウム				地域医療・連携・福祉分科会（精神科領域） シンポジウム						
第8会場			B			臨床医学分科会 特別講演Ⅰ				臨床医学分科会 特別講演Ⅱ						
第9会場			C													
ポスター 会場	沖縄県立 武道館	アリーナ/ 錬成道場	ポスター掲示		一般演題発表 (看護・看護教育分科会、経営・管理分科会、臨床検査分科会、 臨床工学分科会、栄養分科会)								ポスター閲覧			
展示会場				企業展示												

12：00		13：00		14：00		15：00		16：00		17：00		18：00		19：00		20：00	
12：30 12：20		13：30				15：30 15：20											
				看護・看護教育分科会 特別講演		看護・看護教育分科会 シンポジウム											
	ランチョンセミナー①			経営・管理分科会 シンポジウム			経営・管理分科会 医療の質の評価・公表等推進事業シンポジウム										
	ランチョンセミナー②			臨床検査分科会 特別講演Ⅰ		臨床検査分科会 特別講演Ⅱ		臨床検査分科会 特別講演Ⅲ									
	ランチョンセミナー③			臨床工学分科会 特別講演			臨床工学分科会 シンポジウム										
	ランチョンセミナー④		交流会														
	ランチョンセミナー⑤																
	ランチョンセミナー⑥																
	ランチョンセミナー⑦																
				栄養分科会 基調講演		栄養分科会 特別講演Ⅰ		栄養分科会 特別講演Ⅱ									
ポスター閲覧				一般演題発表 (看護・看護教育分科会、地域医療・連携・福祉分科会、薬剤分科会、 放射線分科会、リハビリテーション分科会、臨床医学分科会)						ポスター撤去							
企業展示																	

12：00		13：00		14：00		15：00		16：00		17：00		18：00		19：00		20：00	
12：30		13：10				15：40		16：20									
		総会特別講演Ⅰ 県民公開講座		総会特別講演Ⅱ 県民公開講座		総会特別講演Ⅲ 県民公開講座		閉会式									
ランチョンセミナー⑧																	
ランチョンセミナー⑨																	
ランチョンセミナー⑩																	
ランチョンセミナー⑪																	
ランチョンセミナー⑫																	
ランチョンセミナー⑬																	
ランチョンセミナー⑭																	
ポスター閲覧		ポスター 撤去															
企業展示																	

第1日目 2022年11月10日（木） 第1会場

◆開会式・総会 8 : 50 ~ 9 : 30

◆会長特別講演 9 : 30 ~ 10 : 20

演 題 「自治体病院の現状と課題」

講 師 小熊 豊（公益社団法人全国自治体病院協議会 会長）

座 長 外間 浩（地方独立行政法人 那覇市立病院 理事長 兼 院長）

◆総会シンポジウムⅠ 10 : 25 ~ 12 : 20

テ ー マ 「新型コロナウイルス感染症のパンデミックを経験してのあれこれ」

シンポジストⅠ 「八重山諸島での新型コロナウイルス感染症～地方自治体との連携から～」

酒井 達也（沖縄県立八重山病院 総合診療科 医長）

シンポジストⅡ 「パンデミックと地域医療構想 自治体病院の役割について」

高山 義浩（沖縄県立中部病院 地域ケア科 兼 感染症内科 副部長）

コメンテーターⅠ 青木 眞（感染症コンサルタント、米国感染症専門医）

コメンテーターⅡ 中島 一敏（大東文化大学 スポーツ・健康科学部 健康科学科 教授）

コメンテーターⅢ 岩田健太郎（神戸大学病院 医学研究科 感染治療学 教授）

コメンテーターⅣ 玉城 和光（沖縄県立中部病院 院長）

コメンテーターⅤ 調整中

座 長 原 義人（公益社団法人全国自治体病院協議会 副会長、
青梅市病院事業管理者）

座 長 竹中 賢治（公益社団法人全国自治体病院協議会 副会長、
天草市病院事業管理者）

第2日目 2022年11月11日（金） 第1会場

◆第59回全国自治体病院学会最優秀演題発表 9：00～9：50

座 長 久貝 忠男（沖縄県立北部病院 院長）

◆総会シンポジウムⅡ 10：00～11：50

テ ー マ 「2024年からの医師の働き方改革に向けての取り組み」

シンポジストⅠ 「医師の働き方改革に向けた当院の取り組み」

大西 祥男（地方独立行政法人加古川市民病院機構加古川中央市民病院
理事長 兼 院長）

シンポジストⅡ 「医師の働き方改革と地域医療のゆくえ ～中小病院の取り組みから～」

吉嶺 文俊（新潟県立十日町病院 院長）

シンポジストⅢ 「医師確保困難地域における医師の働き方」

久貝 忠男（沖縄県立北部病院 院長）

座 長 望月 泉（公益社団法人全国自治体病院協議会 副会長、
八幡平市病院事業管理者 兼 八幡平市立病院 統括院長）

座 長 松本 昌美（公益社団法人全国自治体病院協議会 副会長、
南和広域医療企業団南奈良総合医療センター 院長）

◆総会特別講演Ⅰ（県民公開講座） 12：30～13：10

演 題 「沖縄の特有性と看護」

講 師 大嶺千枝子（沖縄県看護協会）

座 長 前田 純子（沖縄県立中部病院 副院長）

◆総会特別講演Ⅱ（県民公開講座） 13：10～14：00

演 題 「働く場所に国境は無い 離島の医療と紛争地の医療」

講 師 滝上 隆一（沖縄県立八重山病院 外科医長／国境なき医師団 外科医）

座 長 上原 真人（沖縄県立八重山病院 麻酔科部長）

◆総会特別講演Ⅲ（県民公開講座） 14：00～15：30

演 題 「感動舞台でヌチグスイ（命の薬）～文化で拓く人と地域と未来の力～」

講 師 平田 大一（南島詩人、演出家、沖縄文化芸術振興アドバイザー）

スペシャルアクション 「ダイナミック琉球～沖縄からの風～」

出 演 者 チーム現代版組踊「鬼鷲」

座 長 篠崎 裕子（沖縄県立八重山病院 院長）

◆閉会式 15：40～16：20

看護・看護教育分科会

テーマ 『未来へ紡ぐ看護の階（きざはし）』

沖縄県立中部病院 副院長
橋口 幹夫



急迫する超高齢化社会と少子化は社会インフラである医療を根底から揺るがすことは、想像に難くありません。

それに対応するために地域の医療連携体制を構築し役割分担を押し進める中で、今回の新興感染症がもたらした影響は、社会保障基盤と医療資源の脆弱さを改めて認識することになりました。

地域包括ケアを押し進めるために多種職との連携や機能・役割分担、地域住民との協働活動、行政との連携・協力の充実が求められる最中、新型コロナウイルス感染症は、それに立ちはだかるように現れ、社会の色々な場面で分断をもたらしました。

一方でクラスターが発生した地域施設へ医療現場から、看護師と医師が出向き、支援を行ない、行政機関との協働で感染をコントロールしながら、施設の機能回復を早期に可能にした事例もありました。患者自身の尊厳を大切にすることへの準備、家族支援などを整える時間もないままに感染症疾患の特殊性から家族と患者が分離され、その最後を悲痛な思いで伏さなければならない状況も数多く経験したのではないのでしょうか。

このパンデミックは、私たち医療従事者にどのような道を選択し進んで行くべきなのかを厳しく問いかけているような気がします。

これからの患者・家族と地域住民の支えとなる看護職の役割とその目標に向かって一段、二段と登ってゆくことへの一助に、この講演、シンポジウムがお役に立てれば幸いです。

特別講演では「2040年を見据えた医療・ケアー臨床倫理を現場で活かす」のテーマで東京大学大学院社会研究科、特任教授の会田薫子先生に看護職における尊厳、ACP（Advance Care Planning）、倫理などをご講演していただきます。シンポジウムでは、北海道大学大学院保健科学研究院、教授の結城美智子先生、認定NPO法人ささえあい医療人権センター COML、理事長の山口育子先生、沖縄県立看護大学、学長の神里みどり先生、沖縄県立北部病院看護師、日本看護系大学協議会ナースプラクティショナーの下地ひかり先生、4名の方々にご活躍の場での経験をもとに「尊厳ある暮らしを支えるー地域の中で看護がつなぐケアのかたちー」というテーマで地域包括ケアにおける看護ケアのあり方、役割をお話して頂き、会場の皆様とのディスカッションを通じて共有できればと企画いたしました。

今回の分科会の特別講演、シンポジウム、一般演題発表を通して、新たな試みやヒントを見つけて頂ければと心から願っております。

1. 特別講演【2022年11月10日（木）14:00～15:00】

演 題 「2040年を見据えた医療・ケアー臨床倫理を現場で活かす」

講 師 会田 薫子（東京大学大学院人文社会系研究科死生学・応用倫理センター上廣講座 特任教授）

座 長 藤本みゆき（那覇市立病院 副院長 兼 看護部長）

沖縄県立南部医療センター・こども医療センター 副院長 兼 母子センター長
福里 吉充



2020年初頭から始まった新型コロナウイルス禍の時代は、医療の全ての分野において、従来体制の脆弱性を浮き彫りにしました。病床逼迫、人材不足、医療機器の不備、新興感染症対策への遅れなど、それまで表面下にあったあらゆる問題・課題が噴出してきました。これらのほとんどは、おそらく、これまで幾度かは想定され、しかし、その都度、我々の思考の中から無意識的・意識的に排除されていた問題・課題でもあったように思われます。看護の世界においても、コロナ禍での医療は、看護の原点について考える貴重な機会ともなりました。

この混沌とした、従来の方法論が通じない状況にあって、確固とした確実なものとは何か、すべての土台は何かと問い詰めていくと、そこにあるのは、紛れもなく看護師の力でした。看護師の力とは、「24時間、患者さんの側に寄り添う」という看護の原点を守る力と、同時に、崩壊寸前の医療体制を整え、新しい医療体制構築に参加していく力でした。看護師の力は、間違いなくコロナ禍を乗り越えるゲームチェンジャーとなりました。これら看護師の力は、なんどもコロナの波を乗り越える原動力ともなりました。

2021年12月現在、コロナ禍は、まだ進行形です。おそらく今後も波は何度も押し寄せてくるものと想像しています。この波を乗り越えていくには、看護師の皆さんの力、看護の原点を見つめ直し、医療体制構築へ積極的に参加していく力が不可欠であると強く思います。

今回、分科会では、「未来へ紡ぐ看護の階（きざし）」をテーマに掲げました。特別講演では、東京大学大学院人文社会系研究科死生学・応用倫理センター特任教授、会田薫子先生に「2040年を見据えた医療・ケア臨床倫理を現場で活かす」をテーマに、ご講演いただきます。また、シンポジスト4名をお招きして「尊厳ある暮らしを支えるー地域の中で看護がつなぐケアのかたちー」というテーマでシンポジウムを行います。

この講演、シンポジウムが、各々の未来へ向けた新たな目標設定のきっかけとなれば、主催者側としては、それに勝る喜びはありません。

2. シンポジウム【2022年11月10日（木）15:00～17:00】

テーマ 「尊厳ある暮らしを支えるー地域の中で看護がつなぐケアのかたちー」

シンポジストⅠ 「危機の時代における地域包括ケアの再考」

結城美智子（北海道大学大学院保健科学研究院 教授）

シンポジストⅡ 「患者の立場からみた患者と医療との協働のあり方 ACP実現のために住民や医療者に期待すること」

山口 育子（認定NPO法人ささえあい医療人権センター COML 理事長）

シンポジストⅢ 「地域包括ケア時代に必要な看護実践能力の育成」

神里みどり（沖縄県立看護大学 学長）

シンポジストⅣ 「島の住民の暮らしと健康を守るための看護実践ー地域と医療の連携を通してー」

下地ひかり（沖縄県立北部病院看護師 日本看護系大学協議会ナースプラクティショナー）

座 長 川平 由美（沖縄県立南部医療センター・こども医療センター 前副院長）

テーマ 『DXの推進による自治体病院の未来』

地方独立行政法人 那覇市立病院 理事長 兼 院長
外間 浩



令和2年の春先から始まった未曾有の新型コロナウイルス感染症、特に第6波パンデミックは日本のこれまでの医療のあり方を考えさせられる大きな出来事だったと思います。特に地域医療構想における自治体病院のあり方を再考しなければならない出来事ではなかったかと思います。沖縄県においては7つの自治体病院しかありません。沖縄県では県内の自治体病院のみならず急性期病院すべてが協力してこの感染症に立ち向かっています。患者情報のやりとり、物資のやりとり、各病院の状況などの情報共有に活躍したのが沖縄県 COVID-19 感染症情報管理システム OCAS (Okinawa Covid-19 outbreak Assessment System)、OASIS (Okinawa Ambulance Supporting Information System)、医療機関等情報システム G-MIS (Gathering Medical Information System)、新型コロナウイルス感染者等情報把握・管理システム HER-SYS (Health Center Real-time information-sharing System on COVID-19)、そして LINE などの SNS でした。令和3年の奈良での臨床医学分科会のテーマは「AI・IoTの利活用による地域医療の未来」ということで菊池英亮先生の緒言の中でも述べられていた「総務省方針に ICT 基盤の高度化で情報連携をより広域化し、医療・介護データの利活用を推進する方向性を打ち出している」とのお話がありました。その必要性がまさに現実化したのが今回のパンデミックで、今回のテーマを選ぶきっかけになりました。ICT 基盤の高度化のための Digital transformation (以下 DX) を今後の地域医療においてどのように活かし、また推進して行くのかについて二つの特別講演をお願いしました。特別講演 I は琉球大学救急医学講座教授梅村武寛先生に今回の COVID-19 パンデミックで県のコロナ対策本部の設置をはじめ、医療施設、行政、保健所、医師会などの各機関、スタッフの連携における Web 連携システム構築、運用の状況と第5波の際のような他県よりの応援も困難な状況における対応の状況を踏まえての課題の提示、今後の新たな大規模災害発生時などを想定した、DX 推進を含めた改善案などの視点より講演いただければと考えます。

特別講演 II の九州大学病院メディカル・インフォメーションセンター教授中島直樹先生には DX 推進による地域医療提供の効率化・高度化という視点で、僻地医療や不採算医療を担う同様な自治体病院に情報を発信できればと考えております。

この講演をばいかじ (南風) にのせて全国に地域医療の未来を発信することでより良い地域医療が構築される機会となれば幸いです。

1. 特別講演 I 【2022年11月11日 (金) 8:30～10:00】

演 題 「沖縄県 COVID-19 対策を通して認識した DX 推進の重要性」

講 師 梅村 武寛 (琉球大学大学院医学研究科 救急医学講座 教授)

座 長 佐々木秀章 (沖縄赤十字病院 救急集中治療 部長)

2. 特別講演 II 【2022年11月11日 (金) 10:00～11:30】

演 題 「地域で進める医療 DX、そのあるべき姿と実際」

講 師 中島 直樹 (九州大学病院 メディカル・インフォメーションセンター センター長/教授)

座 長 安里 哲好 (沖縄県医師会 会長/社会医療法人 かりゆし会 理事長)

テーマ 『セクシャリティにおける医療の均てん化に自治体病院は どのように貢献できるか？』

おきなわジェンダーセンター センター長
親富祖勝己



精神科領域の二つの分科会会長としてご挨拶申し上げます。

臨床医学分科会（精神科領域）では、「おきなわジェンダーセンター（沖縄県立中部病院内）」において連携する各診療科スタッフが中心となり、「性（セクシャリティ）における医療」と題して性同一性障害や性分化障害等に関するシンポジウムを開催します。シンポジウムを通して性同一性障害における身体治療の保険診療が認可された自治体病院として唯一の沖縄県立中部病院の活動も紹介し、精神科以外の診療科に携わる医療従事者の方にとっても興味深い内容になると思います。

1. シンポジウム【2022年11月11日（金）8:30～10:10】

テーマ 「性（セクシャリティ）における医療」

シンポジストⅠ 「ここからみたセクシャリティ」

親富祖勝己（おきなわジェンダーセンター センター長）

シンポジストⅡ 「内性器からみたセクシャリティ」

大畑 尚子（沖縄県立中部病院総合周産期母子医療センター 産科部長）

シンポジストⅢ 「染色体からみたセクシャリティ」

金城さおり（沖縄県立中部病院小児科 小児科部長）

シンポジストⅣ 「機能からみたセクシャリティ」

川合 志奈（沖縄県立南部医療センター・こども医療センター 小児泌尿器科 医師）

シンポジストⅤ 「形態からみたセクシャリティ」

今泉 督（沖縄県立中部病院形成外科 部長）

座 長

親富祖勝己（おきなわジェンダーセンター センター長）

大畑 尚子（沖縄県立中部病院総合周産期母子医療センター 産科部長）

テーマ 『スマート社会における病院薬剤師の未来』

沖縄県立南部医療センター・こども医療センター 院長
和氣 亨



近年、病院薬剤師の業務が大きく変革してきました。調剤が中心であった「対物業務」から、薬剤管理指導等が加わって「対物・対人業務」となり、今や薬剤師は、急激に高度化、多様化する医療の中で、安心・安全な医療を提供する薬の専門家として、多職種との連携を図り、医薬品の適正使用の処方提案、医薬品の情報を提供することが重要な職責となっています。

また、地域包括ケアシステムにおいては「病院完結型」から「地域完結型」医療への転換が求められ、病院薬剤師には入院患者の薬物治療管理に加えて、退院後の保険薬局と薬業連携を構築し、患者本位の薬物療法を薬剤師目線でスマートに情報共有することで、地域における多職種協働への貢献が期待されます。

スマート社会においては医療のIT化が目覚ましく進展し、業務の効率化、医療従事者の働き方改革、オンライン診療等の医療サービス向上に加えて、医療ビッグデータの利用が可能となって様々な情報が共有され、AI（人工知能）により情報の確実性が得られるでしょう。その時、薬剤師に求められるのは、各種情報を正しく捉え、薬剤師自身の経験と人間力を活かしたより良い医療を患者に提供する方策を考えることだと思います。

さて、薬剤分科会では、沖縄で活躍しているお二人の先生に、薬剤分科会テーマである「スマート社会における病院薬剤師の未来」について、これからのスマート社会と医療分野における情報活用についての講演と、地域包括ケアにおける医療・介護・患者のヘルスケア・栄養について、講演をしていただきます。一般演題では、日頃の取り組みの成果を発表していただき、活発な意見交換をして頂きたいと思っております。多くの皆様のご参加をこころよりお待ちしております。

1. 特別講演Ⅰ【2022年11月11日（金）8:30～10:00】

演 題 「病院薬剤師のみなさんにもっと踏みこんでほしい！

高齢者の低栄養、サルコペニア、フレイル、コモビディティ」

講 師 吉田 貞夫（ちゅうざん病院リハビリテーション科 ちゅうざん病院 副院長・金城大学 客員教授）

座 長 豊見山直樹（地方独立行政法人 那覇市立病院 副院長）

2. 特別講演Ⅱ【2022年11月11日（金）10:00～11:30】

演 題 「副作用ケースを見抜くスキルを鍛える」

講 師 徳田 安春（群星沖縄臨床研修センター センター長）

座 長 和氣 亨（沖縄県立南部医療センター・こども医療センター 院長）

テーマ 『ゆいまーる（助け合い）の心で地域医療に貢献する臨床検査技師』



沖縄県立八重山病院 副院長
松茂良 力

第60回全国自治体病院学会臨床検査分科会を、2022年11月10日（木）に、那覇文化芸術劇場なはーとを会場に開催いたします。新型コロナウイルス感染症禍（以下、コロナ禍と略す）にあって、PCR検査をはじめとするCOVID19関連検査に臨床検査技師が果たした役割は誠に大きなものがあります。オミクロン株による第6波では、これまでにない危機的な感染状況となり検査機器や試薬、抗原検査キットなどの不足が課題となる中、最前線で地域医療に貢献していただいている臨床検査技師の皆様に心から敬意を表します。

臨床検査分科会のテーマは、『ゆいまーる（助け合い）の心で地域医療に貢献する臨床検査技師』で特別講演三題を企画いたしました。

特別講演Ⅰは沖縄県立八重山病院 検査科 副技師長八幡照幸先生にコロナ禍第5波の際に他施設に支援に入りCOVID19関連検査について講演・技術指導・結果解釈などリアルゆいまーる実践経験をお話いただきます。

特別講演Ⅱは株式会社HPマネジメント シニアマネージャー横山一紀先生に臨床検査部における経営戦略をお願いいたしました。診療報酬改定や社会保障制度改革で全国の自治体病院経営は青色吐息の中、コロナ禍空床保障を除くと経営実態は悪化を辿っていることと推察されます。臨床検査部がチーム医療へ参加しながら質の高い医療を提供し、収益増加を目指し地域医療へ貢献していく経営戦略をご講演いただければと考えております。

特別講演Ⅲは日本臨床衛生検査技師会代表理事副会長丸田秀夫先生にタスクシフト／シェアに関する法改正の概要と今後の展望についてご教示いただければと考えております。医師の働き方改革のため2024年4月から医師時間外労働上限規制が適用されることから他医療関係職種へのタスクシフト／シェアが検討され法改正に至ったものであります。法改正の情報共有だけでなく、地域医療の現場でのタスクシフト／シェア実践に結びつけられる機会となれば幸いです。

11月の沖縄は涼しくなり、かりゆしウェアで快適にすごすことができます。

この機会に是非ともお越しください。心よりお待ちしております。

1. 特別講演Ⅰ【2022年11月10日（木）14:00～15:00】

演 題	「コロナ禍なのでデリバリーレクチャー」
講 師	八幡 照幸（沖縄県立八重山病院 検査科 副技師長）
座 長	仲間 美香（沖縄県立中部病院 検査科 主任技師）

2. 特別講演Ⅱ【2022年11月10日（木）15:00～16:00】

演 題	「臨床検査部における経営戦略～地域医療への貢献～」
講 師	横山 一紀（株式会社HPマネジメント シニアマネージャー）
座 長	多良間 隆（沖縄県立八重山病院 検査科 前技師長）

3. 特別講演Ⅲ【2022年11月10日（木）16:00～17:00】

演 題	「タスクシフト／シェアに関する法改正の概要と今後の展望」
講 師	丸田 秀夫（一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会 代表理事 副会長）
座 長	金城 光幸（沖縄県立中部病院 検査科 技師長）

テーマ 『高度化する放射線診療と地域医療の担い手としての役割』



沖縄県立北部病院 副院長
重盛 康司

2000年ごろ登場したマルチスライスCTは、放射線診療に革新をもたらしたと言えます。その後コンピュータ技術の発展は、それまでの心眼で観察していた単純写真の時代から、MPR断面や3D再構成を利用したよりリアルな観察の時代へと診断の流れを置き換えました。時は流れ2020年ごろから始まった診療現場へのAI技術の導入・活用は、さらに早いテンポで放射線領域の診療を変えようとしています。現場を担う皆さんは、情報の氾濫に翻弄されているところかもしれません。一方でこの2年半余り、自治体病院職員である皆さんは新型コロナウイルス感染症の最前線で、患者を診療し地域医療を支えるために奮闘されていることと存じます。この新型コロナウイルス感染症の流行によって社会の様々な部分に変化が生じてきていると感じていますが、デジタル化・ネットワーク化が社会のキーワードになっている印象を受けています。

急激なデジタル化は都市部と地方とで2極分化・格差の拡大をもたらす易い側面があると思われませんが、他方でネットワーク化の進展により情報格差は縮小し、誰でもどこでも情報入手が容易になる時代がすでに来ていると思われれます。AI技術も、現在は黎明期から発達初期の段階ですので難しい技術と感じている皆さんが多いと思われれますが、いわゆる「スマホ」の普及に象徴されるように、多くの機器に導入が試みられながらより人に優しい技術として社会に浸透していくと想像しています。

そんな未来を想像しながら、南風が吹く沖縄で先端技術に触れ、また現場で創意工夫されている皆さんの叡智を分かち合うことが出来ればと思い、放射線分科会では特別講演に3人の先生方をお招きしました。リモート技術の発達した昨今ですが、感染対策を万全にし、多数の皆様のご来場をお待ちしております。

1. 特別講演Ⅰ【2022年11月11日（金）8:30～9:30】

演 題	「診療放射線技師におけるSTAT画像報告」
講 師	加藤 京一（昭和大学大学院 保健医療学研究科 教授）
座 長	安座間泰晴（沖縄県立宮古病院 放射線技術科 主任技師）

2. 特別講演Ⅱ【2022年11月11日（金）9:30～10:30】

演 題	「これからの診療放射線技師に求められること」
講 師	白石 順二（熊本大学大学院 生命科学研究部 教授）
座 長	久場 匡（沖縄県立宮古病院 放射線技術科 副技師長）

3. 特別講演Ⅲ【2022年11月11日（金）10:30～11:30】

演 題	「沖縄県の地域医療における放射線診療の現状、問題点とこれから」
講 師	西江 昭弘（琉球大学大学院 医学研究科 放射線診断治療学講座 教授）
座 長	重盛 康司（沖縄県立北部病院 副院長）

テーマ 『自治体病院栄養部門が取り組むSDGs』

沖縄県立宮古病院 院長
岸本 信三



2年間にわたる新型コロナ感染も終息をみせないこの頃ですが、ポストコロナに向けた新たな社会作りが始められようとしています。去った2015年国連サミットでは、持続可能な開発目標（SDGs）は、「誰一人取り残さない持続的な社会の実現を目指す」とあり、様々な分野に於いてその達成に向けた取り組みが行われています。SDGsの目標3では、「全ての人に健康と福祉を」としており、あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進することで、「どんな人間でも差別されることなく、最高水準の健康と適切な保健医療サービスを確保できることが目的」としています。

さて、病院栄養部門はこれまでも、すべての入院患者に病態に応じた食事提供、栄養管理を行ってきました。しかし、近年のグローバル社会において、様々な宗教や文化、生活習慣をもつ入院患者に対して、その対応に苦慮する事例がでてきています。このSDGsの目標3の概念の理解と実践を栄養部門からとらえていく必要性を感じています。

今回「自治体病院栄養部門が取り組むSDGs」をテーマとして、その基調講演に公益社団法人日本栄養士会代表理事会長の中村 丁次先生に「SDGsと栄養」を、特別講演Ⅰの笠岡 誠一先生に「ハラル～知ることから理解することへ」を、特別講演Ⅱに河野 公子先生の「宗教や主義に対応した食事提供の実践」をご講演いただくこととなっております。

また、ポスターセッションには、多くの方の発表もお待ちしております。

地域を越えた一人一人に配慮した食事提供と栄養管理の知識の習得と技術の研鑽は必須であり、この分科会がその一助となることを願っております。

1. 基調講演【2022年11月10日（木）14:00～15:00】

演 題 「SDGsと栄養」

講 師 中村 丁次（公益社団法人日本栄養士会 代表理事会長／公立大学法人神奈川県立保健福祉大学 学長）

座 長 岸本 信三（沖縄県立宮古病院 院長）

2. 特別講演Ⅰ【2022年11月10日（木）15:00～16:00】

演 題 「ハラル～知ることから理解することへ」

講 師 笠岡 誠一（文教大学 健康栄養学部 管理栄養学科 教授）

座 長 新垣 慶子（沖縄大学 健康栄養学部 管理栄養学科 准教授）

3. 特別講演Ⅱ【2022年11月10日（木）16:00～17:00】

演 題 「宗教や主義に対応した食事提供の実践」

講 師 河野 公子（淑徳大学 看護栄養学部 栄養学科 教授）

座 長 下地 恵美（沖縄県立中部病院 栄養管理室 室長）

リハビリテーション分科会

テーマ 『ニライカナイから夢を乗せて 新しいリハビリテーションを創る』

沖縄県立宮古病院 前院長
本永 英治



全国の自治体病院に勤務する皆様、年中温かい沖縄での学会へ是非とも足を運んで頂き、未来溢れるテーマ、「ニライカナイから夢を乗せて 新しいリハビリテーションを創る」に同期する演題発表、そして準備した3つの講演から多くを学び、新しい知と心温かい沖縄の文化のお土産を其々の故郷に持ち帰り、其々の故郷の医療、そしてリハビリテーション医療を発展させていきましょう。

コロナ禍の中で1年遅れて開催される第60回全国自治体病院沖縄大会は、2022年11月10日・11日に開催されます。常夏の島・沖縄にもこの時期になるとミーニシ（新北風）と呼ばれる涼しい秋風が吹くようになり大変過ごしやすい時節となっております。

美しい自然と独特の歴史的発展してきた琉球文化を有する沖縄での自治体病院学会、そしてリハビリテーション分科会への参加は、琉球の風土や文化にも触れ参加者の心を豊かにし和ませてくれることでしょう。そして県民皆で助け合ってきた沖縄の歴史文化に触れ、沖縄という地域が大小の島々で成り立っていることを認識されることでしょう。

沖縄県の医療は、戦後のどん底から立ち上がり発展してきた独自の歴史を有しています。それは沖縄本島、宮古群島、八重山群島、そしてその周囲にある多くの島々まで、また1年365日24時間安心安全な体制で医療を受けられるように施設を整え人員を配置し、そこに生活する住民が進歩し発展した適切な医療を受けられるよう取り組んできた歴史でもあります。

沖縄県自治体病院リハビリ分科会一同は、リハビリテーション医療は沖縄県離島の隅々まで、そこに生活する住民に医療の提供が行き渡ること、そしてその内容は最新の医療知識と技術を駆使し、多様性を持つ個人の社会活動、そして社会参加を積極的に促すことが可能となる高品質のものでないといけないと自覚しています。

「ニライカナイから夢を乗せて 新しいリハビリテーションを創る」のテーマは、人間は各々ひとつの命（いのち）として誕生し、それぞれの地域社会で、成長、発達、病気（やまい）、老化を経験する中で、自己の可塑性を探り、激しい地球環境・人間社会に適応しながら、新しいニライカナイ（夢や希望）を創造し遅く生きていけることを意味しています。

各々のニライカナイを実現させていきましょう！

1. 特別講演Ⅰ【2022年11月11日（金）8:30～9:30】

演 題 「宇宙リハビリテーションを創造する」

講 師 増澤 諒（株式会社いずみ 理学療法士）

座 長 本永 英治（沖縄県立宮古病院 前院長）

2. 特別講演Ⅱ【2022年11月11日（金）9:30～10:30】

演 題 「研究からのビジネス展開～BodySharingの場合～」

講 師 玉城 絵美（H2L, Inc. CEO, 琉球大学 工学部 教授）

座 長 安里 隆（沖縄県立南部医療センター・こども医療センター リハビリテーション科 部長）

3. 特別講演Ⅲ【2022年11月11日（金）10:30～11:30】

演 題 「嚥下障害のリハビリテーション」

講 師 藤島 一郎（浜松市リハビリテーション病院 病院長）

座 長 豊見山直樹（地方独立行政法人 那覇市立病院 副院長）

テーマ 『臨床工学技士 ～変化する医療体制を担う～』

沖縄県立北部病院 院長
久貝 忠男



新型コロナウイルス感染症は流行開始から約2年間近く続きました。日本は危機的な2021年8月の「第5波」を経験するも、原因がはっきりしないまま新規感染者や重症患者が劇的に減少し、12月現在、「小康状態」にあります。

「第5波」は一日当たりの感染者数が過去最多となる中で、入院できずに自宅で命を落とすケースが相次ぎ、新型コロナ以外の一般医療が制限されるなど「医療崩壊」ともいえる状況に陥りました。入院ベッドが不足し通常医療を制限する医療機関も出て、治療に使う人工呼吸器やECMOが不足し、どの患者に使うか、使わないかという倫理的なトリアージの問題に直面する場面も生まれました。臨床工学技士（以下、CE）はその操作のエキスパートとして、なくてはならない存在となり、一躍脚光を浴びましたが、病院の立地や規模に応じて役割は千差万別であったと推察されます。そこで“100年の1度の災害”の感染症でCEがそれぞれの立場でどのような役割を担ったか？ 次世代のレガシーとして残すために分科会テーマを「臨床工学技士～変化する医療体制を担う～」とし、シンポジウムでは「離島・へき地から都市部の中核病院における新型コロナ感染症に対する各施設の対応」を発表してもらうことになりました。コロナ禍でのCEの働きを検証するにはとても時宜を得たもので、有意義と思われます。

一方で、2024年の医師の働き方改革に向け、CEの業務範囲が広がり、特に、手術室での輸液ポンプの接続や薬剤投与など、麻酔アシスタントとしての貢献度が期待されています。

コロナ禍、日本では感染症対策の土台であるリスクコミュニケーションの脆さや医療機関の連携の不備、デジタル化への取り組みの遅れも明らかになりました。その教訓をもとに「第6波」に向け、病床機能の分化、病院間の連携強化や集約化が必要で、病院のみで完結、地域の医療機関が役割分担して、「地域完結型」で対策しなければなりません。地域医療構想の策定し、ともに生きるために「病院から地域へ」、「地域包括ケアシステム」を構築する必要があります。

持続可能な医療と介護の連携の中で、新たなCE像を作り出し、本分科会から未来へ発信して行きたいと考えます。

1. 特別講演【2022年11月10日（木）14:00～15:20】

演 題 「地域医療へのさらなる貢献！ ～臨床工学技士へのタスク・シフト／シェア～」

講 師 青木 郁香（公益社団法人 日本臨床工学技士会 専務理事）

座 長 菊池 雄一（岩手県立中央病院 臨床工学技術科 臨床工学技師長）

2. シンポジウム【2022年11月10日（木）15:20～17:00】

テーマ 「新型コロナウイルス感染症に対する各施設の対応」

シンポジストⅠ 「離島医療における臨床工学技士の役割」

又吉 妙子（沖縄県立八重山病院 臨床工学技士長）

シンポジストⅡ 「沖縄県唯一こども病院を有する施設での臨床工学技士の役割」

玉城 智（沖縄県立南部医療センター・こども医療センター 臨床工学科技士長）

シンポジストⅢ 「大都市公立病院における COVID-19 対応の検証と教訓」

相嶋 一登（横浜市立市民病院 臨床工学部 技士長）

シンポジストⅣ 「新型コロナウイルス感染症に対応した臨床工学部門の運営」

野沢 義則（八戸市立市民病院 医療技術局 医療技術局長 兼 臨床工学科技士長）

シンポジストⅤ 「宮崎県北部地区における中核病院での役割と対応」

中西 清隆（宮崎県立延岡病院 臨床工学科 主任）

座 長 神戸 幸司（中部大学 客員教授）

佐野 貴広（地方独立行政法人 那覇市立病院 ME室長）

テーマ 『ポストコロナにおける自治体病院の経営のあり方』

沖縄県立南部医療センター・こども医療センター 副院長
與那覇博康



沖縄県立南部医療センター・こども医療センター副院長の與那覇と申します。
この度、沖縄県立八重山病院の篠崎院長より第60回全国自治体病院学会の経営・管理分科会の責任者を拝命しました。
テーマは「ポストコロナにおける自治体病院の経営のあり方」です。このテーマは今年も少々論じられてはいますが、まだ来年もテーマとしては議論が続いていると思います。
経営形態によっていろいろ変わる部分ではありますが、コロナに関していえば、実は一時的な診療報酬上の特別な対応のため特定集中治療加算×3倍や救急医療管理加算×3倍（場合によっては5倍）になっており、重点医療機関においては空床補償のための補助金も交付され、人工呼吸器などの医療器機もたくさん購入でき、なかば「コロナ長者」のような状態が続いていますが、こういうものを除いて考えると医業収益は3割～4割は減になっています。（ひどいところは5割減とも聞いています。）
このような中でポストコロナに向けての経営戦略とはどういうものかというディスカッションができればと思います。今回は病院経営というところにスポットをあてていますが、今後の自治体病院のあり方（医療機能をどう考えるか）やBCP（コロナのようなパンデミックのときにどういう医療体制を重点的に残すか）の考え方と密接にリンクすると思いますし、それらを（医療機能→経営）通常状態に戻していくにはどうするか？次にこのような感染症のパンデミックが来たときに向けて病院としてどういうところに体力をつけていけば経営的に破綻しない病院になれるか？というところだと思います。
もはやコロナ以前には戻れないと言われる中で、今回のパンデミックは地域医療構想や地域医療計画にも大きな影響を与えており、これまでの考えを修正しなければいけない部分がいくつかでてきています。
このような中で自治体病院はどこに向かっていくかということです。
公立病院改革で病院の統廃合がいろいろありましたが、今回逆に統廃合されていないからクラスターによる病棟閉鎖、救急患者の受け入れ停止などがあり、一つの病院がダウンしてもそれと同等の機能の病院が複数あることで医療崩壊が免れていることを実感しています。
また後方支援の病院も回復期のリハビリ専門の病院を残してその他の病院を整理する方向性だったのが、今回コロナの急性期の治療は済んだが、在宅にも施設にも戻れない患者が多数いてそれを受け取る中小規模の療養型のベッドを有する病院にどれだけ助けられたか。
これらを踏まえて良いディスカッションができればと思います。
さらには、全国自治体病院協議会の医療の質の評価・公表等推進事業では「医療の質と病院マネジメント」をテーマにシンポジウムを行います。

1. シンポジウム【2022年11月10日（木）14:00～15:30】

テーマ	「ポストコロナにおける経営対策の取組並びに実践」
講師	「ポストコロナにおける自治体病院の経営のあり方 ～持続可能な医療機能提供体制の確保をめざして～」
	望月 泉（全国自治体病院協議会 副会長／八幡平市病院事業管理者 兼 八幡平市立病院 統括院長）
コメンテーター	伊関 友伸（城西大学 経営学部マネジメント総合学科 教授）
コメンテーター	谷口 健次（小牧市民病院 病院長）
コメンテーター	日高 武英（公立邑智病院 副院長（兼）事務部長、企画調整課長事務取扱）
座長	和氣 亨（沖縄県立南部医療センター・こども医療センター 院長） 與那覇博康（沖縄県立南部医療センター・こども医療センター 副院長）

2. 医療の質の評価・公表等推進事業シンポジウム【2022年11月10日（木）15:30～17:00】

テーマ	「医療の質と病院マネジメント」
シンポジストⅠ	「医療の質から考える健全経営」 小阪 真二（島根県立中央病院 病院長）
シンポジストⅡ	「統合することで成し得たこと、将来なし得るだろうこと」 宮地 正彦（掛川市・袋井市病院企業団立中東遠総合医療センター 企業長 兼 院長）
シンポジストⅢ	「精神科病院における臨床指標（仮）」 北村 立（石川県立こころの病院 院長）
座長	窪地 淳（さいたま市立病院 名誉院長 兼 経営戦略特命参与、臨床指標評価検討委員会 委員長） 長尾真理子（埼玉県立精神医療センター 病院長、臨床指標評価検討委員会 副委員長）

テーマ 『「地域医療のこれから」～過去をふり返り、未来へ繋ぐ・結ぶ・開く～』

沖縄県立中部病院 院長
玉城 和光



2021年の夏を襲った新型コロナウイルス感染症（以下、コロナという）第5波。沖縄県では最流行時、人口10万人当たりの新規感染者数は2位の東京を大きく引き離しての1位、しかも世界最悪という状況でした。

医療フェーズが急激に上がっていく中で、急性期病院（特に重点医療機関）はコロナ病床を確保すべく、地域の後方病院や施設に患者を紹介する作業を急ピッチで進める必要に迫られました。この時、後方病院が自ら動き、月曜日から金曜日まで担当病院を割り当て、そこで各急性期病院からの転院依頼を受けて調整する作業を引き受けてくれたのです。この“連携室の連携”により、転院にかかる時間は大幅に短縮され、より多くのコロナ患者をスムーズに受け入れることができました。

悪い事は重なるもので、高齢者施設でのクラスター多発が追い打ちをかけてきました。この時、急性期病院の有志達が立ち上がり、24時間体制で当番を組み、陽性者が確認されれば速やかに施設へ赴き、ゾーニングや職員と入所者全員のPCR検査、それと並行して感染対策の指導も行いました。さらに早期の治療介入を施行しながら搬送の判断やcodeを含めた家族への説明等も行いました。もちろん、施設職員からの相談対応等のバックアップも24時間体制で行いました。これにより急性期病院への転院を大幅に抑えることができました。全国各地でこのような形は違えども本質は同じ連携が行われたと思います。コロナ禍にあったからこそ様々な工夫がなされ、“連携の本来あるべき姿”がより明確になったと考えています。

今回の特別講演では、ひなた在宅クリニック山王院長の田代和馬先生をお招きして、“当院で対応した新型コロナウイルス感染症の総括”と題したご講演を賜ります。シンポジウムでは、“地域における新型コロナウイルス感染症対策～クラスター発生高齢者施設の実例から学ぶこと～”と題して、クラスター対策に奔走された方々をお招きして、現場での具体的な動きを報告してもらい、施設への支援と連携のあり方について議論を深めたいと思います。沖縄県立武道館では、一般演題がポスターセッション形式で行われます。この分科会を、“連携の本来あるべき姿”を多くの方々と共有し、確認する場にしていきたいと考えています。

1. 特別講演【2022年11月11日（金）8:30～10:00】

演 題	「当院で対応した新型コロナウイルス感染症の総括」
講 師	田代 和馬（ひなた在宅クリニック山王 院長）
座 長	玉城 和光（沖縄県立中部病院 院長）

2. シンポジウム【2022年11月11日（金）10:00～11:30】

テーマ	「地域における新型コロナウイルス感染症対策 ～クラスター発生高齢者施設の実例から学ぶこと～」
シンポジストⅠ	「『弱い者いじめウイルス』との戦い ～高齢者・障害者施設におけるクラスター対策の経験～」 本村 和久（元 沖縄県立中部病院 総合診療科 部長）
シンポジストⅡ	「明日（未来）がみえた繋がり～2施設同時クラスター 48日間の戦い～」 香村 真範（住宅型有料老人ホームとうもも管理者）
シンポジストⅢ	「クラスター支援における災害救護のノウハウを活かしたロジの活動」 井上 稔之（日本赤十字社沖縄県支部 事業推進課 主事）
シンポジストⅣ	「新型コロナウイルス 高齢者施設でのクラスター対策支援で学んだこと ～看護師の立場から～」 新垣 泉（沖縄県立中部病院 感染管理認定看護師）
座 長	玉城 和光（沖縄県立中部病院 院長）



地域医療・連携・福祉分科会（精神科領域）

テーマ 『地域医療として精神科病院と総合病院の連携深化』

おきなわジェンダーセンター センター長
親富祖勝己



地域医療・連携・福祉分科会（精神科領域）では、「精神科病院と総合病院の地域連携室」と題し、連携室機能の相違をめぐって双方の理解が深まるシンポジウムを計画しています。

診療科と職種の枠を超えて精神科領域の2つのシンポジウムに多くの方が参加できるようお待ちしております。

1. シンポジウム【2022年11月11日（金）10:10～11:30】

テーマ 「精神科病院と総合病院の地域連携室」

シンポジストⅠ 「離島県の精神科病院における連携室機能～連携と自己完結の狭間で～」

仲程ひろみ（沖縄県立精和病院地域連携室 室長（看護師長））

シンポジストⅡ 「離島県の総合病院における連携室機能～連携と自己完結の狭間で～」

仲田 朝子（沖縄県立南部医療センター・こども医療センター地域連携室 室長（看護師長））

シンポジストⅢ 「文化の違いを認めあう対話と取り組み ～精神科病院から～」

黒岡 真澄（岡山県精神科医療センター 地域連携班 班長）

シンポジストⅣ 「文化の違いを認めあう対話と取り組み ～総合病院から～」

兒子 愛子（岡山市立市民病院 入退院管理支援センター 地域医療支援課 課長）

指定討論者 野中 芙美（沖縄県立宮古病院 地域連携室 精神保健福祉士）

座 長 飯田 淳史（沖縄県立精和病院 副院長）

1. 総会特別講演Ⅰ（県民公開講座）【2022年11月11日（金）12:30～13:10】

演 題 「沖縄の特有性と看護」

講 師 大嶺千枝子（沖縄県看護協会）

座 長 前田 純子（沖縄県立中部病院 副院長）

沖縄県看護協会
大嶺千枝子



沖縄は時代に翻弄された複雑な歴史と共に多様な文化があり、地理的には亜熱帯に属し美しい自然環境に恵まれています。

太平洋戦争後の72年間は、米国の施政権下に置かれ、医療は米軍政府や米民政府の布令等に基づいたが、広大な海域に点在する島々の住民の健康を守るため、脆弱な医療保健行政を補完する様々な政策がありました。

沖縄の看護は「保助看護」の適用が及ばず看護布令により独自の看護制度を確立してきました。看護教育は大学と提携して保助看護より高いレベルの教育を行いました。現職者育成は米軍病院研修や多様な海外研修、リーダー育成は琉大委託制度を活用し、質の高い看護提供に努めると共に看護職者の社会的地位を高めました。

看護リハは、本土より20年以上も早く県内病院に浸透しました。制度化は実現しませんでした、麻酔看護婦養成を試みる等、革新的な試みもありました。

地域看護に関しては、保健師の地域駐在制度により1951年から無保健師地域は有りません。島嶼と相まって脆弱な医療行政を補完した駐在制は、質の高い保健師活動の普遍化で46年間、無医地区住民の健康を見守ってきました。

健康は平和と安全を達成する基礎（WHO憲章前文）と言われます。地球上の健康格差が続く中、看護は世界へ貢献できる魅力的な職業です。皆様のご活躍を祈念して。

2. 総会特別講演Ⅱ（県民公開講座）【2022年11月11日（金）13:10～14:00】

演 題 「働く場所に国境は無い 離島の医療と紛争地の医療」

講 師 滝上 隆一（沖縄県立八重山病院 外科医長／国境なき医師団 外科医）

座 長 上原 真人（沖縄県立八重山病院 麻酔科部長）

沖縄県立八重山病院 外科医長／国境なき医師団 外科医
滝上 隆一



自治体病院の1つの使命として、地域に必要な医療を、公正・公平に提供し、住民の生命と健康を守ることが挙げられます。この考えは、私が所属する、民間で非営利の国際医療・人道援助団体である、国境なき医師団（MEDECINS SANS FRONTIERES：MSF）の理念と一致します。

MSFは、1971年に設立以来50年以上にわたり、紛争や自然災害、貧困などにより危機に瀕した人びとに、独立・中立・公平な立場で緊急医療援助を届けてきました。

私は2016年にMSFに所属してから、イエメンやイラクなど8つのプロジェクトに参加しています（2022年2月現在）。

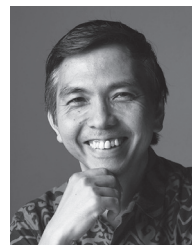
沖縄県石垣島という、離島の医療に従事しながら、海外のプロジェクトに参加するという働き方は、一般的な勤務医からは特異な目で映ると思いますし、プロジェクトに参加中は石垣島を離れることになるので、自治体病院の使命に矛盾するよう思えるかもしれません。

しかし、そこに住む人々の生命と健康を守るという点で違いはありません。医療者としての純粋な「患者さんに笑顔を取り戻して欲しい」、という気持ちに国境があつていいのでしょうか？

今回の講演では、MSFの活動を紹介しながら、自分の離島医療への向き合い方、そこにある問題点も提示しつつ、1つの「働き方の形」をお話しさせていただきます。

3. 総会特別講演Ⅲ（県民公開講座）【2022年11月11日（金）14:00～15:30】

演 題	「感動舞台でヌチグスイ（命の薬）～文化で拓く人と地域と未来の力～」
講 師	平田 大一（南島詩人、演出家、沖縄文化芸術振興アドバイザー）
スペシャルアトラクション	「ダイナミック琉球～沖縄からの風～」
出演者	チーム現代版組踊「鬼鷲」
座 長	篠崎 裕子（沖縄県立八重山病院 院長）



南島詩人、演出家、沖縄文化芸術振興アドバイザー
平田 大一

「ヌチグスイ」とは感動した際などに発せられる沖縄の言葉で「命の薬」と訳します。今回は沖縄から世界へ、常に沖縄文化のトップランナーとして活動を展開する、演出家で南島詩人の「平田大一」らしい歌や演奏も交えた「ヌチグスイ！」感動講話をお届けいたします。

地域の偉人や歴史的な人物をテーマに舞台化された「現代版組踊」は沖縄版ミュージカルとも称され、問題行動の多かった子ども達が変容を遂げた「奇跡の舞台」とも呼ばれています。2000年の初演から22年が経過した現在はその流れを汲んだ「現代版組踊シリーズ」が県内外へと拡大、北海道から八重山まで全国17の地域へ発展し、次世代をフォーカスした地域活性化の先進的事例として各界からも注目を集めています。

一方で「KBG84（小浜島ばあちゃん合唱団）」で知られる高齢者が主役の島おこしの立ち上げにも尽力、近年は嘉手納シニア・ヒップホップダンススクールのプロデュースに加え、障がい者自らが企画、運営する音楽イベント「愛音楽（あねら）音楽祭」のサポートなど、文化を軸にあらゆる分野との協働に積極的に参画する沖縄文化芸術の牽引役としても活動しております。

当日は、感動舞台にまつわるエピソードや取り組みの実践事例を一挙大公開、特別プログラムとして、平田が演出を手掛け全県の子ども達が参加する「現代版組踊チーム鬼鷲（うにわし）」メンバーと平田の競演によるスペシャルアトラクションも予定しております。笑いと涙と感動の講演内容と合わせ、ダイナミックで躍動感溢れる演目にも是非、ご期待ください。

【現代版組踊チーム鬼鷲とは】講師の平田大一が脚本、総合演出を手掛け全県の中学生や高校生が参加する舞台活動です。上演時間は約2時間、初演は2008年、本編タイトルは「現代版組踊 鬼鷲～琉球王尚巴志伝」。三山時代の琉球を統一し首里城遷都、築城を行った琉球王国建設の父「尚巴志王」の立身出世を、歌舞音曲に乗せて舞い踊り、演じる本格的な歴史劇です。最近では小学生や児童養護施設入所児、障がいを持ったあらゆる環境の子ども達に感動体験の場を提供する取り組みとしても注目を集め「沖縄子どもの未来県民会議」などとも連携するなど、幅広い層から絶大な支持を得ています。当日は舞台主題歌「鬼鷲（うにわし）」ラストを飾る「ダイナミック琉球」の2曲を抜粋し、披露いたします。



1. 事前参加登録受付期間 2022年4月20日（水）～9月12日（月）正午

■当日の服装について

ノーネクタイ、カジュアルな服装でお越しください。
但し、サンダル・短パン・ジーンズでのご参加はご遠慮ください。

2. 学会参加費

(1) ①一般 12,000円（当日参加費は13,000円）

・プログラム・抄録集代を含みます。
※感染対策のため、当日受付は1箇所（那覇文化芸術劇場なは一と）のみ設置いたします。できるだけ事前参加登録をお願いいたします。

②学生（大学、看護・医療系専門学校の学生及び初期研修医） 無料・当日登録のみ

・プログラム・抄録集が必要な方は、学会当日会場にて2,000円で販売いたします。
・交流会は対象外となります。

(2) 交流会参加費 5,000円

日 時：1日目 2022年11月10日（木） 18：00～20：00（予定）

会 場：ホテルコレクティブ 2階 宴会場

〒900-0014 沖縄県那覇市松尾2-5-7 TEL：098-860-8366

※定員により申し込みを締め切らせていただく場合がございますので予めご了承ください。（定員：400名）

※交流会参加証をお持ちでない方は、会場にお入りいただけません。

3. 参加申込方法・区分

事前参加登録は、インターネットにてオンライン登録をお願いいたします。

申し込み URL <https://www.c-linkage.co.jp/60jmha/>

本システムをご利用の方は、以下のブラウザをご利用ください。

Microsoft Internet Explorer 11 以降（Windows）

Safari 11 以降（Macintosh）

Google Chrome 70 以降（Windows, Macintosh）

Mozilla Firefox 63 以降（Windows, Macintosh）

※JavaScriptを許可するように設定してください。

・締切当日はアクセスが集中し、登録に支障をきたすことが考えられますので、余裕を持ってご登録ください。

・応募者自身が間違えて入力した内容につきましては、事務局では一切責任を負いません。

登録ボタンを押す前に、必ず内容に間違いがないかどうかをご確認ください。

【参加申込区分】

参加種別	申込方法	支払方法	事前送付物	当日会場での受付
事前登録	オンライン	銀行振込	参加証・領収証、 プログラム・抄録集等	不要
当日登録	那覇文化芸術劇場なは一と	現金のみ	なし	申込書記入、参加費納入、 参加証・領収証発行、 プログラム・抄録集等受取

※学生の方の申し込み方法は、当日登録のみとなります。

プログラム・抄録集が必要な方は、学会当日会場にて2,000円で販売いたします。

※本学会ではランチョンセミナーの事前申し込みは承っておりません。詳しくはP.27をご参照ください。

【団体登録について】

- ・同一病院・施設内の複数名分の学会参加・交流会のお申し込みを、まとめて登録することができます。団体登録は30名分まで登録可能です。
- ・団体登録は、登録者の中から1名代表者（連絡担当者）を決定して代表者の方が登録をしてください。ご参加されない方を代表者（連絡担当者）にすることはできませんのでご注意ください。代表者（連絡担当者）を通じて一括登録、一括入金、ネームカード・抄録集等の一括発送をさせていただきます。
- ・団体登録の各個人宛への個別送付は対応いたしかねますのでご了承ください。個別に発送をご希望される場合は、個人登録をご利用ください。
- ・団体・個人での二重登録には十分ご注意ください。

4. 参加分科会区分

お申し込みの際には、参加を予定する分科会名を以下より1つご選択ください。

※該当する分科会が複数ある場合も、以下より1つご選択ください。

- | | | |
|-----------------|-----------|------------|
| A：看護・看護教育分科会 | B：臨床医学分科会 | C：薬剤分科会 |
| D：臨床検査分科会 | E：放射線分科会 | F：栄養分科会 |
| G：リハビリテーション分科会 | H：臨床工学分科会 | I：経営・管理分科会 |
| J：地域医療・連携・福祉分科会 | | |

5. お申し込みの流れ

【事前参加登録】

- (1) 本学会ホームページの「参加登録」から画面の案内に従ってご登録ください。
- (2) 事前参加登録完了後、E-mailがご登録のメールアドレスに配信されます。24時間経過しても届かない場合は、登録が完了していない可能性がございますので、運営事務局（P.27）までご連絡ください。
- (3) 申込内容変更・取消について
登録内容の変更・取消をご希望される方は、E-mailにて運営事務局（P.27）までご連絡ください。
- (4) お支払方法

銀行振込のみ

振込期限：2022年9月20日（火）

ご登録は、ご入金の確認をもって完了となります。振込期限までにご入金が確認できない場合は、事前参加登録が取消となり、当日登録をしていただくこととなりますので、ご注意ください。

お振込口座は、下記2箇所に記載されております。

1. オンライン参加登録手続きの画面
2. オンライン参加登録完了後、自動的に配信されるE-mail

※振込手数料は参加登録者負担でお願いいたします。

※お振り込みの際には参加登録の受付№と参加登録者氏名（例：0001 沖縄太郎）を振込依頼人欄にご入力ください。参加登録者以外の振込人名義でお振り込みされますと、確認ができずに料金未納の扱いとなる場合がございます。

※お振り込みはご登録後なるべくお早めをお願いいたします。

- (5) 送付物

事前参加登録をされた方には、入金確認後、10月下旬（予定）に申込者（代表者）宛に以下の物をご送付いたします。

- | | |
|---------------------|-------------------------|
| ・学会参加証 | ・交流会参加証（※お申し込みいただいた方のみ） |
| ・プログラム・抄録集 | ・ランチョンセミナー引換券 |
| ・領収証（※発行は全て個別となります） | |

【当日参加登録】

那覇文化芸術劇場なはーと1階受付前に設置しております申込書に予め必要事項をご記入の上、受付にてお手続きください。

参加費のお支払いは、現金のみにて受け付けております。

6. 取消料について

お申し込み後、止むを得ずご参加を取り消しされる場合には、下記の取消料を申し受けます。

なお、変更・取消をご希望される方は、E-mailにて下記運営事務局までご連絡ください。

※お電話およびFAXでの変更・取消は、受付をいたしませんので、ご注意ください。

取消期間	学会参加費	交流会参加費	備考
2022年9月12日まで	取消料なし	取消料なし	プログラム・抄録集等は送付しません
2022年9月13日以降	参加費全額	参加費全額	プログラム・抄録集等は送付します

7. ランチョンセミナーについて

本学会では、ランチョンセミナー（昼食付）を企画しております。参加される場合には参加券が必要となります。ランチョンセミナーの参加券は、下記の要領にて配布いたします（参加券は参加証に添付されている引換券との交換になります）。数に限りがございますので、お早めにご来場ください。

■配布場所：那覇文化芸術劇場なはーと 1階ロビー（予定）

■配布日時：11月10日（木） 8：00～11：00（予定）※規定枚数に達し次第、終了

11月11日（金） 8：00～11：00（予定）※規定枚数に達し次第、終了

※会場には参加券をお持ちの方から優先的にご入場いただけます。

※参加券は、ランチョンセミナー開始後に無効とさせていただきます。

8. 託児所について

本学会では託児所のご用意はございません。

9. お問い合わせ先

運営事務局：株式会社コンベンションリンクージ

〒901-2227 沖縄県宜野湾市宇地泊281-2

TEL：050-3460-3097 FAX：098-898-2202

E-mail：jmha60@c-linkage.co.jp

＜お問い合わせ受付時間＞月曜～金曜（祝祭日除く）9：30～17：30



演題発表申し込み

一般演題（ポスターセッション）を公募いたします。
多数の皆様の申し込みをお待ちしております。

演題募集期間

2022年4月20日（水）～6月27日（月）正午

1. 発表形式

ポスター発表（発表5分、質疑応答2分）

本学会では、一般演題はすべて「紙ポスター」での発表となります。

会場では、紙ポスターを閲覧用として掲示していただき、発表、質疑応答を行います。

従来の「デジタルポスター」での発表は行いません。

※詳しくは、本学会ホームページをご参照ください。

2. 演題発表申し込み方法

・演題発表申し込みはすべてUMINオンライン演題登録にて受け付けます。

登録された演題は、演題発表申し込み締切日までオンライン上で修正、削除することができます。

申し込みURL <https://www.c-linkage.co.jp/60jmha/>

【注意事項】

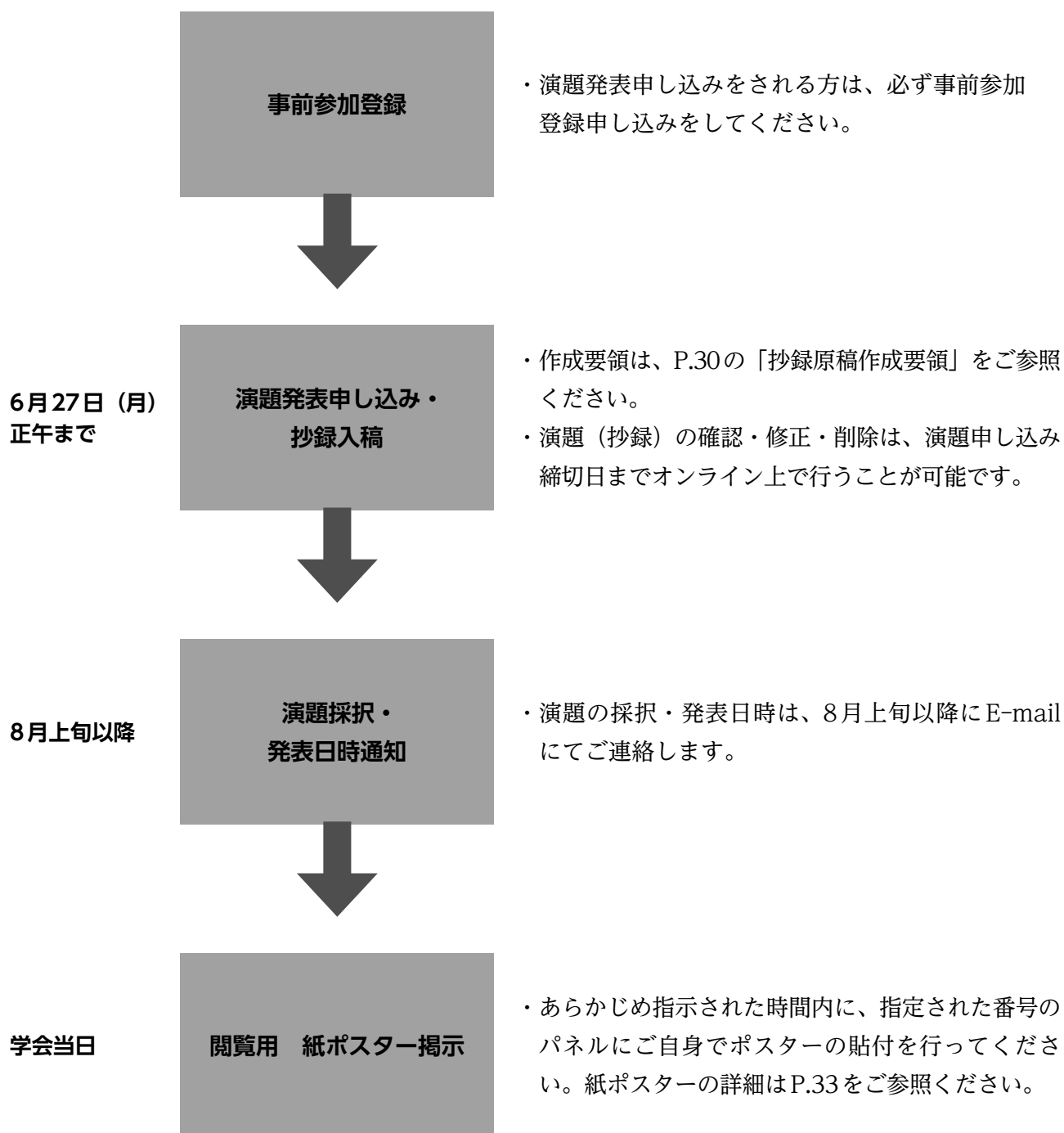
- ・演題発表申し込みをされる方は、必ず事前参加登録申し込みをしてください。
- ・締切当日はアクセスが集中し、登録に支障をきたすことが考えられますので、余裕を持ってご登録ください。
- ・応募者自身が間違えて入力した内容につきましては、事務局では一切責任を負いません。
登録ボタンを押す前に、内容に間違いがないかをご確認ください。
- ・演題の採択、および発表分科会等の決定は学会長に一任願います。
ご希望に沿えない場合もございますが、ご了承ください。

※ご利用可能なブラウザとバージョン：

- ・Firefox 最新バージョンを推奨
- ・Google Chrome 最新バージョンを推奨
- ・Internet Explorer 最新バージョンを推奨
- ・Microsoft Edge 最新バージョンを推奨
- ・Safari 最新バージョンを推奨

3. 演題発表申し込みから発表当日までの流れ

※ポスターセッションについては、P.32にも記載しておりますので、ご参照ください。
※最新情報は、本学会ホームページに掲載いたします。



演題発表申し込み

4. 抄録原稿作成要領

(1) 発表希望分科会

発表希望分科会を以下から選択してください。

A：看護・看護教育分科会

A-1 急性期看護	A-2 慢性期看護	A-3 外来看護
A-4 認知症看護	A-5 在宅看護	A-6 救急看護
A-7 災害看護	A-8 精神看護	A-9 小児看護
A-10 母性看護	A-11 がん看護	A-12 看護倫理
A-13 看護管理・情報管理	A-14 看護教育	A-15 看護業務改善
A-16 感染管理	A-17 医療安全	A-18 チーム医療
A-19 その他		

B：臨床医学分科会

B-1 自由演題	B-2 専門医制度	B-3 医師の働き方改革
B-4 医療安全・医療の質	B-5 医療連携	B-6 災害時医療

C：薬剤分科会

C-1 医薬品調整	C-2 医薬品管理	C-3 医薬品情報
C-4 医療安全	C-5 薬物治療	C-6 がん化学療法
C-7 抗菌化学療法・感染制御	C-8 精神科領域	C-9 チーム医療
C-10 薬剤管理指導	C-11 病棟薬剤業務	C-12 医療経済
C-13 薬薬連携	C-14 教育研究	C-15 治験・臨床試験
C-16 経営	C-17 その他	

D：臨床検査分科会

D-1 管理・運営	D-2 輸血	D-3 免疫
D-4 生化学	D-5 血液	D-6 一般
D-7 病理	D-8 細胞診	D-9 微生物
D-10 生理	D-11 チーム医療	D-12 その他

E：放射線分科会

E-1 X線検査	E-2 CT検査	E-3 MRI検査
E-4 血管撮影	E-5 核医学検査	E-6 放射線治療
E-7 放射線管理	E-8 医療情報管理	E-9 その他

F：栄養分科会

F-1 糖尿病	F-2 がん・緩和	F-3 摂食・嚥下障害
F-4 周術期栄養管理	F-5 リハ栄養	F-6 栄養食事指導
F-7 災害時栄養管理	F-8 地域連携・在宅	F-9 チーム医療
F-10 給食管理	F-11 その他	

G：リハビリテーション分科会

G-1 管理・運営	G-2 調査・統計	G-3 高次脳機能障害
G-4 神経系疾患	G-5 内部障害	G-6 骨関節系疾患
G-7 がんリハビリ	G-8 摂食・嚥下	G-9 生活環境支援
G-10 小児リハビリ	G-11 地域リハビリ	G-12 ロボットリハビリ
G-13 その他		

H：臨床工学分科会

H-1 呼吸	H-2 循環	H-3 代謝
H-4 医療機器管理	H-5 手術	H-6 その他

I：経営・管理分科会

I-1 病院経営	I-2 運営管理	I-3 医療の質管理
I-4 リスクマネジメント	I-5 情報システム	I-6 患者サービス
I-7 その他		

J：地域医療・連携・福祉分科会

J-1 退院支援・退院調整	J-2 地域医療ネットワーク	J-3 ICT 地域医療ネットワークシステム
J-4 がん相談・支援	J-5 地域包括ケア・在宅医療	J-6 地域・住民との連携
J-7 ソーシャルワーク実践	J-8 チーム医療	J-9 その他

- (2) 共同研究者はスペースの関係上、最大9名（演題発表者を含む）としてください。
- (3) 共同研究者の所属が異なる場合は、原則として合計で最大5施設としてください。
- (4) 演題名は全角60文字以内で簡潔にまとめて作成してください。なお、英数字は半角2文字を全角1文字と換算いたします。
- (5) 抄録本文は全角1,000文字以内とし、内容は【目的】、【方法】、【結果】、【結論】の順に必ず項目を立てて記述してください。なお、英数字は半角2文字を全角1文字と換算いたします。
図表をご登録する場合は抄録本文の文字数は670文字以内となりますので、ご注意ください。
- (6) 抄録本文作成上の注意
 - ・抄録本文は、最初にご自身のPCのソフトで作成し、コピー機能を使って貼り付けされることをお勧めします。
 - ・先頭行も1マスあけずに左詰めで記入してください。

5. お問い合わせ先

運営事務局：株式会社コンベンションリンケージ

〒901-2227 沖縄県宜野湾市宇地泊281-2

TEL：050-3460-3097 FAX：098-898-2202

E-mail：jmha60@c-linkage.co.jp

<お問い合わせ受付時間> 月曜～金曜（祝祭日除く）9：30～17：30

ポスターセッションについて

1. 発表形式について

ポスター発表（発表5分、質疑応答2分）

発表者は会期中、会場内のご自身のポスターに所定の時間帯にお立ちいただき、発表・質疑応答を行います。

ポスターセッション閲覧イメージ



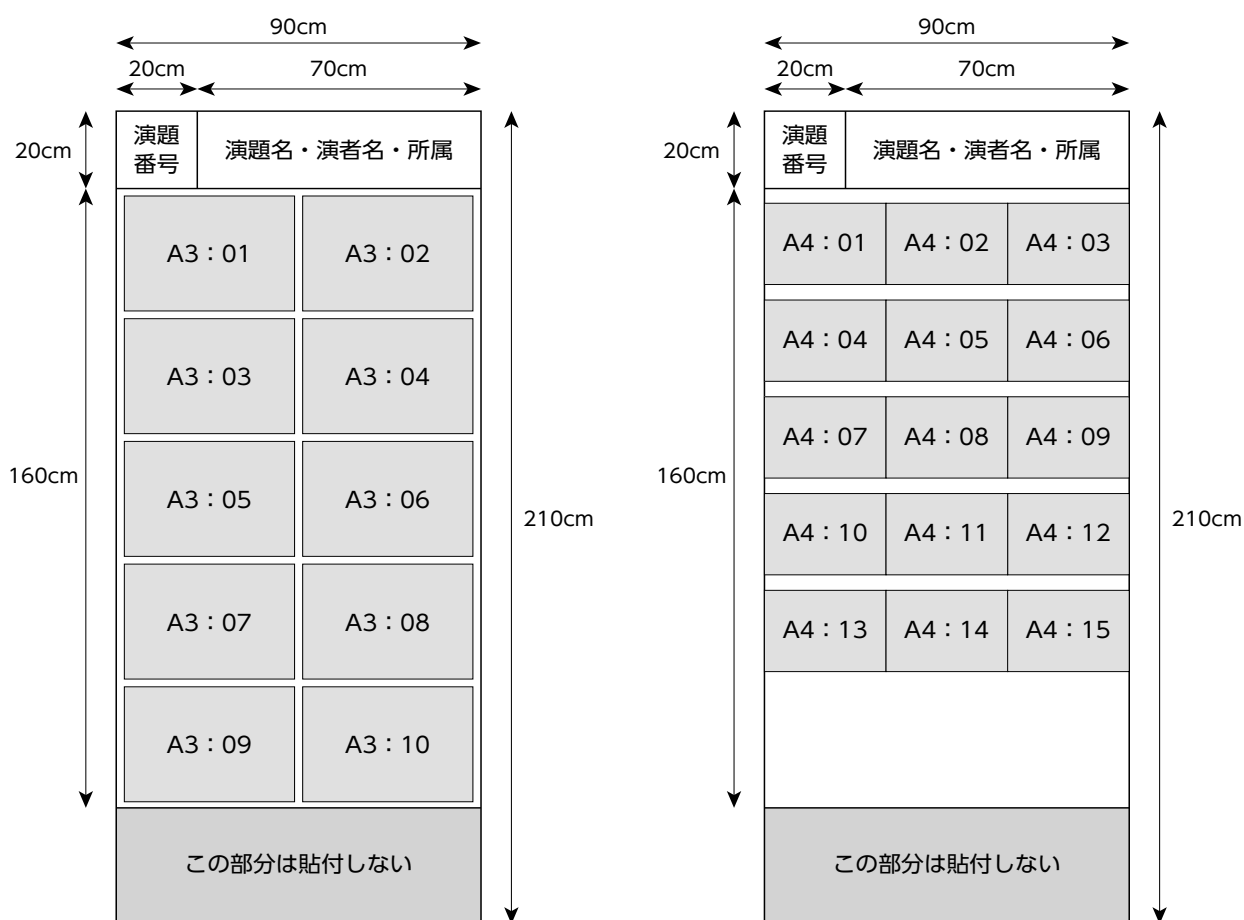
※当日の服装について

ノーネクタイ、カジュアルな服装でお越しください。
但し、サンダル・短パン・ジーンズでのご参加はご遠慮ください。

2. 閲覧用 紙ポスターについて

- ・演題ごとに下記のような大きさのパネルを用意いたします。あらかじめ指定時間内に、指定された演題番号のパネルにご自身で紙ポスターの貼付を行ってください。
- ・本学会は1日ごとに貼り替える形式といたしますので、掲示・撤去は、指定時間内に各自の責任にてお願いいたします。また、撤去時間以降に残っているポスター等は、事務局にて処分いたしますので、予めご了承ください。

紙ポスターパネルイメージ



- ・パネル左上の演題番号は、事務局で用意いたしますので、その右側に演題名・演者名・所属を表示してください。
 - ・紙ポスターはA3：10枚またはA4：15枚程度で作成をお願いいたします。パネルのサイズに準拠していただければ、長尺用紙での掲示も可能です。
- ※ポスターパネルの詳細については、学会ホームページをご参照ください。

宿泊のご案内

この度、第60回全国自治体病院学会に出席されます皆様方のご便宜を図るため、宿泊のお世話を株式会社JT沖縄旅行営業部MICE営業課にて取り扱わせていただくことになりました。全国各地より参加される皆様方に宿泊のご案内を申し上げます。

お申込の際は空室状況の確認およびお支払手続きをご確認いただき、学会ホームページ「宿泊・エクスカーションのご案内」ページよりご予約ください。

- 宿泊期間：2022年11月9日（水）・10日（木）・11日（金）の3泊
- 旅行代金：一泊朝食付（サービス料・税込）のお一人様あたりの料金です。
- お申込方法：宿泊予約専用サイトより各自お申込ください。
- お支払方法：銀行振込、クレジットカード、コンビニ決済が可能です。
詳しくは宿泊予約専用サイトをご確認ください。
- 申込締切日：2022年10月9日（日）23：59まで

宿泊ホテルリスト一覧

No.	ホテル名	客室タイプ	宿泊日 お一人様料金(1泊朝食付)			交通アクセス
			11/9 (水)	11/10 (木)	11/11 (金)	
①	ホテルコレクティブ	ツイン1名利用	¥25,200	¥25,200	¥25,200	沖縄都市モノレール県庁前駅より徒歩約7分
		ツイン	¥14,200	¥14,200	¥14,200	
②	ホテルJALシティ那覇	シングル	¥15,900	¥15,900	¥16,500	沖縄都市モノレール県庁前駅より徒歩8分
③	ホテルストレータ那覇	シングル	¥13,000	¥13,000	¥15,000	沖縄都市モノレール美栄橋駅より徒歩約1分
④	ホテルロコアナハ	シングル	¥12,600	¥12,600	¥13,700	沖縄都市モノレール県庁前駅より徒歩約2分
⑤	アルモントホテル那覇県庁前	シングル	¥11,200	¥11,200	¥12,800	沖縄都市モノレール県庁前駅より徒歩約3分
		ツイン	¥9,000	¥9,000	¥10,600	
⑥	ホテルグレイスリー那覇	シングル	¥10,900	¥10,900	¥10,900	沖縄都市モノレール県庁前駅より徒歩約5分
		ツイン	¥8,700	¥8,700	¥8,700	
⑦	ホテルサン沖縄	シングル	¥10,400	¥10,400	¥10,900	沖縄都市モノレール県庁前駅より徒歩約2分
		ツイン	¥7,100	¥7,100	¥7,600	
⑧	西鉄リゾートイン那覇	シングル	¥10,000	¥10,000	¥10,000	沖縄都市モノレール県庁前駅より徒歩約3分
		ツイン	¥8,500	¥8,500	¥8,500	
⑨	ルートイン那覇旭橋駅東	シングル	¥8,700	¥8,700	¥8,700	沖縄都市モノレール旭橋駅より徒歩約3分
		ツイン	¥7,800	¥7,800	¥7,800	
⑩	ソルヴィータホテル那覇	シングル	¥7,800	¥7,800	¥7,800	沖縄都市モノレール美栄橋駅より徒歩約10分
		ツイン	¥6,400	¥6,400	¥6,400	
⑪	東横イン 那覇国際通り美栄橋駅	シングル	¥7,600	¥7,600	¥7,600	沖縄都市モノレール旭橋駅より徒歩約3分
⑫	GRGホテル那覇東町	シングル	¥6,800	¥6,800	¥6,800	沖縄都市モノレール旭橋駅より徒歩約5分
		ツイン	¥5,800	¥5,800	¥5,800	



● バス停 ——— モノレール

那覇空港からのアクセス

■ 那覇文化芸術劇場 なはーと

モノレールをご利用の場合

- ・ 県庁前駅から徒歩約 6 分
- ・ 美栄橋駅から徒歩約 6 分

バスをご利用の場合

- ・ 国内線旅客ターミナル発 125 番または 120 番乗車
- ・ 松尾バス停下車徒歩約 4 分

タクシーをご利用の場合

- ・ 那覇空港より約 14 分
- ・ 料金 1,200 円～ 1,500 円

■ ホテルコレクティブ

モノレールをご利用の場合

- ・ 県庁前駅から徒歩約 7 分

バスをご利用の場合

- ・ 国内線旅客ターミナル発 125 番または 120 番乗車
- ・ 松尾バス停下車徒歩約 0 分

タクシーをご利用の場合

- ・ 那覇空港より約 15 分
- ・ 料金 1,500 円～ 2,000 円



エクスカーションのご案内

本学会ご参加者用に下記エクスカーションをご用意しております。学会ホームページ「宿泊・エクスカーションのご案内」よりぜひお申込ください。

ツアー内容の一部をご紹介しますので、参考のうえホームページ（下記URL）よりお申込ください。

【ツアー概要】

- 旅行設定日：ホームページより各コースのカレンダーをご確認ください。
- 旅行代金：各コースのご案内をご覧ください。
- 旅行代金に含まれるもの：貸切バス代、入場代、昼食代（該当のコース）
- 最少催行人数：各コースのホームページをご確認ください。
- 添乗員：同行いたします。
- バスガイド：同行いたします。

◎：入場観光 ○：下車観光 △：車窓観光 ✈：航空機 ～：船 ＝：バス …：徒歩

A. 首里城・おきなわワールド

【ポイント！】琉球王国の歴史・文化を体験し平和について学ぶコースとなっています。

月日曜	行	程	食事
11/11 (金)	那覇バスターミナル 9:00 ○平和祈念公園 平和の礎 13:35 【30】 14:05 那覇バスターミナル 16:00	◎首里城公園 9:30 【50】 10:20 ◎ひめゆりの塔 14:10 【30】 14:40 ◎おきなわワールド（昼食） 10:50 【150】 13:20 ○道の駅いとまん 14:50 【30】 15:20 <30> <10> <40>	朝：－ 昼：○ 夜：－

- ご旅行代金（お一人様）：5,500円

B. 古宇利島・今帰仁城址・美ら海コース

【ポイント！】古宇利島や美ら海水族館を回るのんびり・ゆったり癒しのコース

月日曜	行	程	食事
11/11 (金)	那覇バスターミナル 8:30 ○今帰仁城址 11:30 【70】 12:40 那覇バスターミナル 18:00	○古宇利島 10:30 【40】 11:10 △ワルミ大橋（車窓） ホテルオリオンモトブ リゾート＆スパ（昼食） 12:50 【60】 13:50 ◎海洋博公園 沖縄美ら海水族館 13:55 【120】 15:55 …………… <120> <5> <120>	朝：－ 昼：○ 夜：－

- ご旅行代金（お一人様）：7,000円

C. 西海岸満喫・美ら海コース

【ポイント！】西海岸を爽快に走る沖縄観光の定番コース

月日曜	行程										食事
11/11 (金)	那覇バスターミナル										朝：－ 昼：○ 夜：－
	8:00<60>9:00【60】10:00<30>10:30【30】11:00<30>										
	ホテルゆがふいんおきなわ										
	◎海洋博公園										
	◎ナゴパイナップルパーク										
	(昼食)										
11:30【50】12:20<5>12:50【120】14:50<30>15:20【40】16:00<90>											
那覇バスターミナル											
17:30											

●ご旅行代金（お一人様）：6,000円



守礼門



万座毛



美ら海水族館

●JTB 国内観光 https://opt.jtb.co.jp/kokunai_opt/i/h22_i2201/?genre1=26

●那覇バス定期観光 <https://nahabus.com/teiki/>

宿泊・エクスカーションに関するお問合せ

株式会社JTB沖縄旅行営業部MICE営業課
「第60回全国自治体病院学会」受付係

TEL：098-861-4040

FAX：098-869-3424

Mail：jmha60@okw.jtb.jp

営業時間：9：30～17：30（土日祝日は休業）



那覇バス



JTB

その他沖縄ならではのアクティビティのご案内（参考）



体験



アウトドア



観光①



観光②



食べる

[illegible]

[illegible]

[illegible]

『 迅速 ・ 丁寧 ・ 确实 』

主要取り扱い商品

心臓血管外科関連商品

放射線科関連商品

麻酔科関連商品

超音波診断装置

医療器械全般

医療消耗品全般



医療機器 ・ 特殊材料
エム・ケイ物産株式会社

☎ 901-1115

沖縄県島尻郡南風原町字山川470番地

TEL (098)888-5115 (代表)

FAX (098)888-5110

電気安全解析装置の新標準！
漏れ電流、保護導通、絶縁抵抗の各測定がこの一台でOK!



さらに進化したポンプテスト

"The Heavy Hitter"

IDA-5

**マルチ
チャンネル**



"The Featherweight Champ"

IDA-1S

**シングル
チャンネル**

FLUKE

Biomedical

FLUKE日本総代理店 大正医科器械株式会社

医療器具・機械、診断・治療・手術材料

人工臓器、ME機器チェッカー、医療映像システム



有限会社 ライフテック

〒903-0126

沖縄県中頭郡西原町字棚原781番地

TEL. (098) 946-7811

FAX. (098) 946-7928

E-mail. mira3215@nirai.ne.jp



Medico

すべてはみんなの笑顔のために



医科器械の総合商社

株式会社 沖縄メディコ

〒901-2122 沖縄県浦添市勢理客3-3-11

TEL (098) 876-5280 (代表) URL www.okinawa-medico.com



健康と快適の明日を考える

沖縄綿久寝具株式会社

代表取締役社長 中嶋 健博

(本社) 宜野湾市赤道1-8-5
TEL (098) 892-1121 (代表)



CERULEAN-NET

有限会社セルリアンネット

■ WEBサイト制作 ■ 映像制作 ■ ドローン空撮 ■ システム開発 ■ PC販売・修理 ■ 医療系サポート ■ データ復旧

宮古島本社

〒906-0013 沖縄県宮古島市
平良字下里1536-3 スクエアビル1A
TEL 0980-73-5542

那覇営業所

〒901-2101 沖縄県浦添市
西原1-12-3 レジデンスラック
TEL 098-878-5222

石垣営業所

〒907-0003 沖縄県石垣市
字平得127-1
TEL 0980-87-7707



ISMS-AC
ISMS ISR002



REGISTERED ORGANIZATION
No.1319-450/IEC 27001

ISMS適用範囲:
宮古本社・那覇営業所



(有)セルリアンネット
<https://www.cerulean-net.jp/>



トップ/パソコン
<https://top-pc.jp/>

人にやさしい環境創り！

『安全・安心』『快適な環境』創りを信頼と技術でご奉仕する！

●警備保障業務●建築物環境衛生総合管理業務●設備環境衛生業務



YAEYAMA BILU KANRI

八重山ビル管理株式会社

代表取締役社長 宮城 徹

■本社/沖縄県石垣市字真栄里383番地の2

TEL (0980) 82-4440 FAX (0980) 83-6659 E-mail: ybk-cop@athen.ocn.ne.jp

『(社)沖縄県ビルメンテナンス協会会員・(社)沖縄県警備業協会会員』

医療情報サービスに、 新たなシナジーを。

4月1日、PSPとNOBORIは、生活者、医療従事者、社会とが医療情報を共有し、より利便性の高いサービスを提供するため合併いたしました。

PSP株式会社 NOBORI Ltd.

PSPは、生活者と医療機関と地域とが連携して、医療サービスに関する資源を分かち合い、生活者自らが医療の担い手であるという意識のもと、医療を支えていく。そんな未来に向け、これからの健康な社会を支える医療情報インフラの構築を目指し続けます。



PSP株式会社 <https://www.psp.co.jp> お問い合わせ promo@psp.co.jp

 PARTHENA

mammoclite
— Breast imaging diagnosis workstation. —

乳腺領域はお任せください

NetCam 株式会社ネットカムシステムズ メディカル事業部

<http://www.netcam.co.jp/>

〒532-0003 大阪府大阪市淀川区宮原5-1-18 新大阪サンアールセンタービル 16F TEL:06-4866-6431 FAX:06-4866-6432

光通信工業株式会社

代表取締役 島 袋 剛

情報通信設備・電気設備の技術者集団で社会に貢献します

〒901-2131 沖縄県浦添市牧港5-4-10

TEL. (098)878-5111(代) FAX. (098)870-1092

給食管理システム

病院・福祉施設様の給食管理業務を
強力にサポートします!



写真はイメージです

- 食数管理(食事箋管理・アレルギー管理)
- 献立管理(HACCP対応帳票)
- 発注管理
- 他システム連携(電子カルテ・オーダーリング)

プリンター・複合機

5年間無償保証
メンテナンス品5年間無償提供!
7年間長期無償サービス
「COREFIDO EX」誕生!

NEW



各種電気工事

有資格者/施工実績ともに多数電気工事も
お任せください

- LED化による省エネ対策
- 消費電力の『見える化』



ビジネスホン/電話交換機

大容量から中小規模まで。
お客様にあったご提案をさせていただきます

- 通話録音や音声自動案内(IVR)による
業務効率の向上
- ひかり電話による通信コスト削減
- スマホ連携でモバイルワーカー支援



FPD搭載X線テレビシステム

SONIALVISION G4

 edition

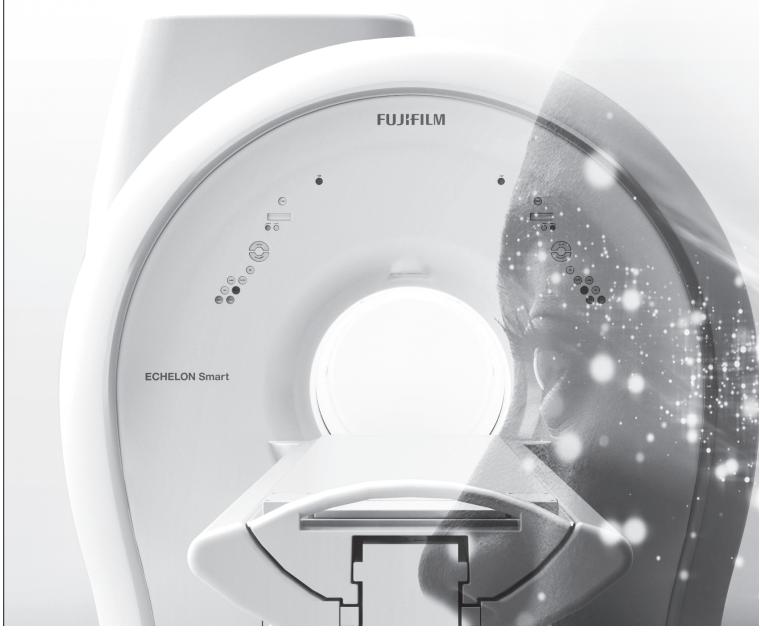


株式会社 島津製作所 医用機器事業部 <https://www.med.shimadzu.co.jp>

代理店 琉球放射線有限会社 〒904-0004 沖縄市中央1-22-15 TEL(098)937-3683

E-mail ryu-hou.001@gamma.ocn.ne.jp

FUJIFILM
Value from Innovation



Speedに「診やすさ」を、 操作に「ゆとり」をPlus

ECHELON Smart Plusの高速化ソリューション「IP-RAPID」は
高速化技術の次世代のスタンダード。

IP-RAPIDの進化とともに診やすさを追求したREALISE Plusを搭載。

AI技術を活用したSynergyDrive※1が

Speedに「診やすさ」を、操作に「ゆとり」をPlusして進化します。

SynergyDrive

powered by



ECHELON Smart Plus

販売名：MRIイメージング装置 ECHELON Smart

医療機器認証番号：229ABZX00028000

※1 SynergyDriveはワークフロー向上技術の総称です。AI技術のひとつであるMachine Learningを活用して開発した機能を含みます。導入後に自動的に装置の性能・精度が変化することはありません。

富士フイルムは医療画像診断支援、医療現場のワークフロー支援、そして医療機器の保守サービスに活用できるAI技術の開発を進めこれらの領域で活用できるAI技術を「REILI(レイリ)」というブランド名称で展開しています。ECHELON Smartは富士フイルムヘルスケア株式会社の登録商標です。仕様及び外観は予告なく変更されることがあります。

FUJIFILM

富士フイルムヘルスケア株式会社

〒107-0052 東京都港区赤坂九丁目7番3号
<https://www.fujifilm.com/fhc>

臨床検査を通じて
社会に貢献する会社でありたい



SINCE 1951

株式会社 **シンテスト**
東京都千代田区神田駿河台 3-7-9



Open the Emotion

あなたが知らない沖縄、はじまる。

日々、最前線で戦ってくれている医療従事者の皆さまに安らげる空間と心からのおもてなしを。



スーペリアツイン (30 m²)



ジュニアスイートルーム (67 m²)



HOTEL COLLECTIVE

ホテル コレクティブ
〒900-0014 沖縄県那覇市松尾2丁目5-7 TEL: 098-860-8836 (ホテル代表)



公式ホームページ・公式 SNS はこちら▲

診療プロセスの全体像を迅速に把握 スムーズかつ的確な診療をサポート



病院内の各診療システムで管理されている、検査画像、バイタル情報、処方などの診療データを1つのプラットフォームに集約・表示。診療プロセスの全体像を把握しながら、診療の場面に応じて、目的の情報に簡単・迅速にアクセスすることができる次世代診療支援システムです。

統合診療支援ポータル

データ統合

- 院内の診療情報を統合

結果参照の効率化

- 必要な情報閲覧にかかる時間を短縮

ペーパーレス

- 院内の紙をなくし業務効率化を促進

統合
診療支援
プラット
フォーム

クリニカルフロー

ケアプロセスの可視化

- 診療プロセスをわかりやすく可視化

チーム医療の促進

- 医師やコメディカルの情報共有を促進

必要な文書や検査を把握

- 診療報酬算定に必要な書類の漏れを把握

レポート既読管理ソリューションで医療安全を支援。

CITA Clinical Finderのレポート既読管理ソリューションは、放射線・生理・内視鏡・病理など全ての検査レポートを対象として主治医を中心に多職種協働でレポートの見落としを防止します。

- 統合システムだから放射線・生理・内視鏡・病理など全ての画像・レポートの未読を管理
- 主治医だけでなく、患者様に関連する全てのスタッフでサポート
- CITAを起動しなくても、一定期間経過した未読患者や重要レポートの到着をお知らせ

cita
Clinical Finder

統合診療支援プラットフォーム
Clinical Intelligence Technology & Architecture